

令和8年度宮城県利府高等学校

入学者選抜における体育実技について

本校を志望する場合は、次のことに注意してください。

- 1 本校普通科を志望とする受験生は本校スポーツ科学科を、本校スポーツ科学科を志望とする受験生は本校普通科を第2志望とすることができます。よって、志望する学科が不合格となった場合でも、第2志望とした学科に合格することがある。
- 2 本校スポーツ科学科を志望とする、または本校普通科を志望し、本校スポーツ科学科を第2志望とする場合は、ウェブ出願システムにおいて「検査当日実技種目」名を選択すること。
なお、競技によって、ポジションごと又は種目ごとに検査内容と評価の観点が異なるため、次の「検査当日実技種目」については、検査当日実技種目名とともにポジション名又は種目名を確認して、出願すること。

(1) ポジション名を選択する実技

- ・ハンドボール=「コートプレイヤー」、「ゴールキーパー」から1つを選択
- ・サッカー=「フィールドプレイヤー」、「ゴールキーパー」から1つを選択
- ・バレー=「スパイカー」、「セッター・リベロ」から1つを選択
- ・ソフトテニス=「前衛」、「後衛」から1つを選択
- ・ソフトボール=「投手」、「内外野手」から1つを選択

(2) 種目名を選択する実技

- ・陸上競技=「短距離走」、「ハードル走」、「長距離走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」、「投てき」から1つを選択
- ・水泳=「競泳」、「飛込」から1つを選択

※「検査当日実技種目」とは、体育実技で実施する種目である。これは、本校で3年間専門に学ぶ実技科目であり、入学後所属する運動部と同一である。

本校で開設する実技科目的種目は次の通りである。

男子：陸上競技、水泳、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、卓球、
ソフトテニス、硬式野球、剣道

以上10種目

女子：陸上競技、水泳、バスケットボール、バレー、卓球、ソフトテニス、
ソフトボール、剣道

以上8種目

3 体育実技の主な内容

各種目の技能・能力全般を見る。ただし、下記の内容について留意する。

○陸上競技

出願時に選択した種目（「短距離走」、「ハードル走」、「長距離走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」、「投てき」）の実技を行う。なお「投てき」については、『体つくり運動（力強い動きを高める運動）』の領域から、投てきに必要な運動を行う。

○水泳

出願時に選択した種目（「競泳」、「飛込」）の実技を行う。なお、「飛込」については、『水泳』と『器械運動（マット運動）』の領域から飛込に必要な運動を行う。

○バスケットボール

留意事項なし。

○ハンドボール

出願時に選択したポジション（「コートプレイヤー」、「ゴールキーパー」）の実技を行う。

○サッカー

出願時に選択したポジション（「フィールドプレイヤー」、「ゴールキーパー」）の実技を行う。

○ラグビー

『体つくり運動（巧みな動きを高めるための運動、力強い動きを高めるための運動）』の領域から、ラグビーに必要な運動を行う。

○バレーボール

出願時に選択したポジション（「スパイカー」、「セッター・リベロ」）の実技を行う。

○卓球

留意事項なし。

○ソフトテニス

出願時に選択したポジション（「前衛」、「後衛」）の実技を行う。

○ソフトボール

出願時に選択したポジション（「投手」、「内外野手」）の実技を行う。

○硬式野球

『球技・ベースボール型（ソフトボール）』の領域から、硬式野球に必要な運動を行う。なお、使用するボールはソフトボールとする。ただし、グローブ等の用具は現在使用している野球用のもので構わないので、改めてソフトボール用の用具を準備する必要はない。

○剣道

留意事項なし。